



タイリクスズキと思われる個体。同サイズのズキは黒点がほぼ消える。北潟湖産 全長:約30cm

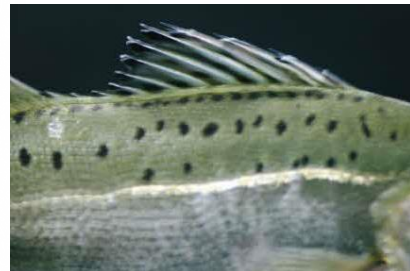
ズキ科 ズキ属

【全長】80cm

タイリクスズキ

俗名:ホシズキ

学名: *Lateolabrax sp.*



体側の黒点は鱗より大きい。北潟湖産

分布域

原産地は中国・朝鮮半島沿岸。
秋田県・房総半島以南に定着。

生息域

沿岸域・河口部に生息する。
淡水域にも積極的に侵入する。

前種のズキに大変似るが、中国・朝鮮半島原産の外来種。脊椎骨数など明確な相違点があり別種。外見的違いは体側に散在する黒点が、鱗より明らかに大きく、成長しても黒点が残る。全長40cm以上で黒点が残っていれば本種といえる。ズキより成長が早く沿岸部などで養殖される。そこから逃げ出し、野生化したものが各地で報告される。主に河口部や沿岸域に生息し、淡水域にも積極的に侵入する(生息場所は在来種のズキとほぼ同じ)。また、中国では完全淡水養殖も行われているようで、このような場合は、嚴重な流出防止策が必要だろう。

※写真の個体は種の判別まで行っていないが黒点が明らかに大きい。

外来種

周縁魚

※ 経済活動が先行し、生物学・環境学的研究が後手にまわる。いずれこの種も養殖や生体の輸入が禁止される可能性がある。積極的にルールを作れないものか。